Fax:520-882-7643

Rec'd PCT/PTO 19 OCT 2005

特許協力条約に基づく国際出願	PCT/JP03/12689
顧書	02.10.03
出願人は、この国際出願が特許協力条 約に従って処理されることを請求する。	(吳內寧) PCT International Application 日 本 国 特 許 庁
	出頭人又は代理人の事類配列 (仲屋ナも紹介、最大18年)
第 1 欄 発明の名称 血流可視化診断装置	
第日橋 出願人 ごの機に起載した者は、発明者でもある	
氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に記載:法人は公式の完全な名称を記載:3	できば原体を考えび回之 (記念) は然を号: 022-217-5253
早瀬 敏幸 HAYASE Toshiyuki	ファクシミリ <del>タ</del> 母: 022-217-5253
〒989-3202 日本国宮城県仙台市青菜区中山台 3-4-3, Nakayamadai, Aoba-ku, Sendai-shi, Miyag	
989-3202 JAPAN	出版人张颢章等;
	新 (図名): 日本国 JAPAN
この欄に記載した者は、次の 樹を図についての出願人である:	《すべての投足型 米国のみ 追記前に記載した指定国
第五欄 その他の出願人又は発明者	
第36年 でものでも、は、その頃に記載、法人に公式の完全な名称を記載、あ 船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青葉区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN	大に放当する:   出版人のみである。   上版人のみである。   上版人のみである。   上版人及び発明者である。   上版明本のみである。   にこにレ印を付したときは、 以下に記入しないこと)
氏名(8年)及びあて名:(佐・名の頃に記載:佐人は公式の完全な名称を記載:8 船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba-	
氏名(8年)及びあて名:(姓・名の頃に記載:送人は公式の完全な名称を記載:8 船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青葉区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN 日本国 JAPAN	大に放当する:   出版人のみである。   上版人のみである。   上版人のみである。   上版人及び発明者である。   上版明本のみである。   にこにレ印を付したときは、 以下に記入しないこと)
氏名(8年)及びあて名:(姓・名の頃に記載:佐人は公式の完全な名称を記載:あ 船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN  日本国 JAPAN  E月	大に放当する:   出版人のみである。   上版人及び発明者である。   上版人及び発明者である。   大変明すのみである。   にこにレ印を付したとされ、以下に記入しないこと)   出版人登録番号:
氏名(8年)及びあて名:(姓・名の頃に記載:送人に公式の完全な名称を記載:あ 船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN	大に放当する:   出版人のみである。   上版人のみである。   上版人のみである。   上版人及び発明者である。   大変のみである。   にこにレ印を付したとされ。   以下に記入しないこと)   比較人受動をラ:   上版人受動をラ:
氏名(8年)及びあて名:(姓・名の頃に記載:佐人は公式の完全な名称を記載:あ 船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN  日本国 JAPAN  E別領に記載した者は、たの 日本国についての世際人である:	大に放当する:   出版人のみである。   上版人のみである。   上版人のみである。   上版人のみである。   「大変のみである。   たこにレ印を付したとされ。 以下に記入しないこと)   比較人受動を守:   上版人受動を守:   上が人を動き 子:   上が人を動き 子:   ナベてのねを図     米面のみ
氏名(名称)及びあて名:(姓・名の頃に記載:佐人は公式の完全な名称を記載:の 船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN  日本国 JAPAN  自本国 JAPAN  自本国 JAPAN  自力を図に記載した者は、たの 定立図についての出版人である: アイマの協定図 ※図を除ぐ でを図についての出版人である: アイマの協定図 ※図を除ぐ アイマの他の出版人文は現場者が就業に定載されている。  第1V税 代理人又は共通の代達者、通知のあて名 次に記載された者は、国際機関において出順人のために行動する:	大に放当する:   出版人のみである。   上版人のみである。   上版人のみである。   上版人及び発明者である。   にこに上印を付したときは、以下に記入しないこと。   出版人登録番号:   に回名): 日本国 JAPAN
氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の頃に記載: 送人は公式の完全な名称を記載: あ船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町 1 1 - 2 9 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN  日本国 JAPAN  は別籍(旧名): 日本国 JAPAN  は別語についての出版人である: ビザベマの規定図 ※国を除る  で本国についての出版人である: ビザベマの規定図 ※国を除る  第200年の他の出版人又は実践の代表者、通知のあて名  なに定載された者は、国際機器において出職人のために行動する:  本名(名称) 及びあてる: (姓・名の頃に記載: 佐人は公式の完全な名称を記載: あ	大に放当する:   出版人のみである。   上版人のみである。   上版人のみである。   上版人及び発明者である。   にこに上印を付したときは、以下に記入しないこと。   出版人登録番号:   に回名): 日本国 JAPAN
氏名(名称)及びあて名:(姓・名の頃に記載:佐人は公式の完全な名称を記載:の 船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町11-29 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN  日本国 JAPAN  自本国 JAPAN  自本国 JAPAN  自力を図に記載した者は、たの 定立図についての出版人である: アイマの協定図 ※図を除ぐ でを図についての出版人である: アイマの協定図 ※図を除ぐ アイマの他の出版人文は現場者が就業に定載されている。  第1V税 代理人又は共通の代達者、通知のあて名 次に記載された者は、国際機関において出順人のために行動する:	大に被当する:
氏名 (名称) 及びあて名: (姓・名の頃に記載: 送人は公式の完全な名称を記載: あ船本 健一 FUNAMOTO Kenichi 〒981-0935 日本園宮城県仙台市青菜区三条町 1 1 - 2 9 ベル Berushionsendai I-301, 11-29, Sanjoumachi, Aoba- 981-0935 JAPAN  日本国 JAPAN  申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「日本国 JAPAN 申別  「本国に記載した者は、本の 「本国を除る  「本国に記載した者は、国際機関において出戦人のために行動する。」  「日本国 (名称) 及びあて名: (後・名の頃に足載: 法人に公式の完全な名符を足載: 本  「日本国東京都千代田区麹町4丁目6名	大に放当する:

PAGE 2/29 \* RCVD AT 10/19/2005 7:01:10 PM [Eastern Daylight Time] \* SVR:USPTO-EFXRF-5/25 \* DNIS:7466702 \* CSID:520 882 7643 \* DURATION (mm-ss):07-16

Oct	19	'05	16:23
	.••		
2	•	.*: ••.	. <b>.</b>

P. 03

第車欄の続き その	の他の出願人又は発明者		
•		A 1	
EA (45) Bitter . (4	こりが発生を用したいと	きは、この用紙を顧客に含めないこと。	
白井 敦 SHIRAI 〒980-0813 日本 2-1-6-101, Komega 980-0813 JAPAN	国宮城県仙台市骨葉区米/ afukuro, Aoba-ku, Sendai-	ケ袋クー1ー6ー101	この欄に配載した存住 次に襲当する:  出版人のみである。  一出版人及び発明者である。  「公司にレータを付したときは、 以下に記入しないこと)  出版人登録書号:
国籍 (四名): 日本国			APAN .
<b>抬定壁についての出頭人である</b> :		田を除くすべての指定国 米田のみ	- 追別構に記載した指定圏
山家 智之 YAMB	Bの頃に記載:差人は公式の完全な名称を記 E Tomoyuki	(報:あて名は郵便番号及び国名も配案)	この境に記載した者は 次に該当する: 出頭人のみである。
〒982-0803 日本国 1-4-30, Kongosawa, 982-0803 JAPAN	国宫城県仙台市太白区金剛, , Taihaku-ku, Sendai-shi,	l沢1-4-30 Miyagi	✓ 出層人及び受明者である。  民明者のみである。 (ここにレ印を付したときは、以下に起入しないこと)  出順人登録者号:
国籍(図名): 日本国	IADAN		
国籍(岡名): 口・小国 この権に配款した者は、次の	JAPAN		PAN
樹定田についての出頭人である: 氏名 (名称) 及びあて名・(200・名)	✓ すべての指定図 米田の畑に記載: 歩人は公式の完全な名称を記載	を除くすべてのお定型   米田のみ	過配機に配載した指定国
西條 芳文 SAIJO \		台3-4-5	この類に記載した者は 次に該当する:  山原人のみである。  レ 出版人及び発明者である。  (ここにレロを付したときは、以下に記入しないこと)  出版人登録書号:
圆 <del>角(圆名)</del> : 日本国	JAPAN	住所 (图名); 日本国 JAF	PAN
この様に記載した者は、次の 樹木回についての出版人である:	✔ すべての指定圏 米国を	と除くすべての指定圏 米国のみ	- 追起機に飲飲した松安価
<b>発名 (名称) 及びあて名:(姓・名の</b>	類に乾穀;莊人は公式の充主な名称や寛 <b>畝</b> ・		この様に記載した否は 大に該当する:  世務人のみである。  出願人及び発明者である。  発明者のみである。  (ここにレ印を付したときは、 以下に記入しないこと)
<b>国符(因名)</b> :	1	生所(图名):	·
の機に記載した者は、次の 発定国についての出頭人である:		除くすべての搭定国 米国のみ	遊記機に記載した特定包
その他の出版人又は発明者が他の	<b>元兵に似されている。</b>		

(煌岩する口にレ即を付すこと:少なくとも1つの口にレ印を付すこと)。 規則 4.9(a)の規定に基づき次の指定を行う。ほかの理想の係及又は取扱をいずれかの指定国(又は OAPI)で求める場合にビ絶定機に記載する。 C 10V 4F 9F ARIPO特許: GHガーナGhana, GMガンビナGambia, KEケコアKenya, LSレントLesotho, MWマラウイ Molawi, MZモザンビーク Mozambique, S D スーダン Sudan. S L シェラ・レオネ Sierra Leone. S Zスワジランド Swaziland, T Zタンザニア United Republic of Tanzania, U G ウガンダ Uganda, Z Mザンビア Zambia Z Wジンパブエ Zimbabwe、 及びハラレプロトコルと特許協力条約の締約関である他の国 (他の種類の保護文は取り扱いを求める協 合には点線上に記載する)...... 会には点線上に記載する) ユーラシア特許: AMTルメニア Armenia。 A Z アゼルバイジャン Azerbaijan。 B Y ペラルーシ Belarus。 K G キルギスタン Kyrgyzstan。K Z カザフスタン Kazakhstan。MD モルドヴァ Republic of Moldova。R U ロシア Russian Federation。T J タジキスタン Tajikistan。TMトルクメニスタン Turkmenistan。及びユーラシア特許条約と特許協力条約の mea. ヨー ロッパや8年: A Tオーストリア Austria、B E ベルギーBelgium、C H and L I スイス及びリヒテンシュタイン Switzerland and Lischtenstein、C Yキブロス Cyprus、D E ドイツ Germany、D K デンマーク Denmark、E S スペイン Spain、F I フィンランド Finland、F R フランス France、G B 英国 United Kingdom、G R ギリシャ Greece、I E ナイルランド Ireland、I T イタリア Italy、L U ルクセンブルグ Luxembourg、M C モナコ Monaco、N L オランダ Netherlands、P T ボルトガル Portugal、S E スウェーデン Swedon、T R トルコ Turkey、 DEP 及びヨーロッパ特許条約と特許協力条約の締約国である他の国 〇API特許: BFブルキナ・ファンBurkina Faso。BJベナンBenin。CF中央アフリカ Central African Republic, C G コンゴ Congo, C I コートジボアール Câte d'Ivoire, C Mカメルーン Cameroon, G Aガボン Gabon. G Nギニア Guinea。 G Q赤道ギニア Equatorial Guinea。 G Wギニア・ビサオ Guinea-Bissau, M Lマリ Mali, M R モーリタ ギニア Guinea。 GQ赤道ギニア Equatorial Guinea。 GWギニ tania。 NEニジェール Niger。 SNセネガル Senegal。 TDティド Chad。 TGトーゴ Togo。 = 7 Mauritania. 及びアフリカ知的所有指拠機のメンバー関であり特許協力条約の締約国である他の国(他の種類の保護又は取り扱いを求める場合には **点線上に記載する)......** 国内特許(他の種類の保護又は取り扱いを求める場合には点線上に記載する) □ A Eアラブ首長国連邦 □ G E グルジア Georgia..... □ N Z ニュー・ソーランド New Zealand United Arab Emirates ロGHガーナ Ghana ..... □ ○ Mオマーン Omen □A Gアンティグア・バーブーダ □ GMガンピア Gambia ロP Tポルトガル Portugal..... □AMアルメ=アArmenia.....□ I ロインドネシア Indonesia □R Oルーマニア Romania □ A Tオーストリア Austria..... □ I LイスラエルIsrael..... □ A Uオーストラリア Australia....... □ I NインドIndia....... □ R ひロシア Russian Federation □ A ファゼルバイジャン Agerbaijan □ I Sアイスランド Iceland . □ J P 日本 Japan...... □ S Dスーダン Sudan 🗆 B Aポスニア・ヘルツェダヴィナ Bosnia 😊 K Eケニア Kenya ...... 🗂 S Eスウェーデン Sweden and Herzegovina...... □ K Gキルギスタン Kyrgyzstan...... □ S G シンガポール Singapore 日 B B バルベドス Barbados □ S I スロヴェニア Slovenia..... □К₽北朝鮮..... □ B Gブルガリア Bulgaria..... □ S Kスロヴァキア Slovakia.... Democratic People's Republic of Korea □ S Lシエラ・レオネ Sierra Leone □ B Rブラジル Brazil..... □ K R 韓国 Republic of Korea..... □ T J タジキスケン Tajikistan □ B Y ベラルーシ Belarus ..... □ K Z カザフスタン Kazakhstan..... □ TMトルクメニスタン Turkmenistan □ B Zベリーズ Belize..... □ L Cセント・ルシア Saint Lucis..... □ C Aカナダ Canada □ L Kスリ・ランカ Sri Lanka □ T Nテュニジア Tunisia □ C Hand L I スイス及びリヒテンシュタイン □ L Rリベリア Liberia □ T R トルコ Turkey..... Switzerland and Liechtenstein ロ L Sレント Lesotho..... □ T Tトリニダッド・トパゴ □ L Tリトアニア Lithuania □ C N中国 China..... Trinidad and Tobago ..... □ L Uルクセンブルグ Luxembourg □ C O コロンピア Colombia ロT マタンザニナ..... □ C R コスタリカ Costa Rica..... □ L マラトヴィア Lotvia United Republic of Tanzania □ C U キューハ Cuba..... □MA₹≅ッ> Morecce..... □ U A ウクライナ Ukraine..... □ C Z f x = Czech Republic..... □MDモルドヴァ Republic of Moldova □ U G ウガンダ Uganda..... ロD E ドイツ Germany..... DUS 米图 United States of America □ む K デンマーク Denmark..... □MGマダガスカル Madagascar ..... CIDMドミニカ Dominica □MKマケドニア旧ユーゴスラヴィア □ U Z ウズベキスタン Ugbekistan...... ロロ Z アルジェリア Algeria..... 共和国 The former Yugoslav Republic of □ V Nベトナム Viet Nam ..... □ E Cエクアドル Equador..... Macedonia ..... □ Y Uユーゴスラヴィア Yugoslavia....... □ E E エストニア Estonia...... □MNモンゴル Mongolia □ 乙 A 簡アフリカ共和国 South Africa ロE Sスペイン Spain..... □MWマラクイ Malawi..... □ F I フィンランド Finland..... □MXメキショ Mexico..... □ Z Mザンビア Zambia □ G B英国 United Kingdom ロM Z モザンピーク Mozambique □ Z Wジンパブエ Zimbabwe..... □NO/ルウェーNorway □ G D グレナダ Grenada 以下の口は、この様式の施行後に特許協力条約の締約国となった国を指定するためのものである。 **.....** 神体の味はの文子・出版人は、上記の特定に加えて、規則(18位)の規定に載づき、神野協力条約の下で認められる他の全ての国の指定を行う。但し、適配機にこの宣言から徐く台の表示をした国は、指定から徐かれる。出版人は、これらの追加される指定が超感を条件としていること、遂びに攻災ログウェライが拒絶する。明にその神経の なきれない協定は、この期間の経過時に、出無人によって取り下げられたものとみなきれることを直言する。(相定の確認は、松定を特定する通知の趣出と相反子会が及

探式PCT/RO/101 (第2角紙) (2002年1月版)

頭客の倒考参照

の確認手数料の納付からなる。この確認は、優先日から15月以内に受理官庁へ提出しなければならない。)

#### 追記欄 この迫記欄を使用しないときは、この用紙を顧客に含めないこと。

1、全ての検視を放当する間の中に危載できないとき。

この場合は、「第一側の続き」(協会学を表示する)と表示し、配載できな い機の指示と同じ方法で情報を記載する ; 特に...

(i)出版人又は発明者として3人以上いる場合で、「就業」を使用できない

この場合は、「第四個の続き」と表示し、第四個で求められている例じ 慣績を、それぞれの者について記載する。

(立) 第五側または第四側の枠の中で、「迫記機に記録した指定間」にレ印を 付しているとき。

この場合は、「第立機の統合」、「第立機の統合」又は「第立機及び第五 湖の駅き」と記載し、球当する出版人の氏名(名称)を表示し、それぞ れの氏名(名称)の次にその者が出版人となる指定国(広域幹許の場合 は、ARIPO特許・ユーラシア特許・ヨーロッパ特許・OAPI特許) GERTS.

(量) 第日加又は第四個の体の中で、発明を又は発明を及び出版人である者 が、全ての指定国のための又は米国のための契明をではないとき。 この場合は、「第日棚の続き」、「第四棚の統き」文は「第日間及び第四 機の統さ」と記載し、原当する発明者の氏名を表示し、その者が発射者 である指定国(広域特許の場合は、ARIPO特許・ユーラシア特許・ - Pッパ特許・OAP ! 付許)を記載する。

(iv) 常形棚に示す代理人以外に代理人がいるとき。

この場合は、「第四個の訳き」と表示し、第四個で求められている間に 預報を、それぞれの代理人について記載する。

(v) 第V個において推定国又はQAPI特許が、「追加特許」文は「追加 旺」を伴うとき、又は、米田が「経練」又は「一部経練」を伴うとき。 この場合は、「第V旗の続き」及び該当するそれぞれの指定国又はOA PI特許を表示し、それぞれの指定国又はOAPI特許の登に、保幹許 又は原出図の香母及び特許付与日又は原出図目を記載する。

(元) 解析機において、硬先権を主張する先の出版が6件以上あるとき。 この場合は、「前VI側の銃き」と表示し、第VI機で求められているもの と同じ情報を、それぞれの先の出版について記載する。

2. 出版人が、第V指における雑誌の指定の宣言に関し、その宣言からいずれか の田を除くことを希望するとき。

この場合は、「確認の指定の支資から、以下の指定国を除く」と起業し、除 かれる菌名又は2文字の菌コードを表示する。

#### [第IV欄の続き]

~ IB any Wess 24 08

<sup>A</sup>10537 弁理士 加古 進 KAKO Susumu

「〒170-0013 日本国東京都登島区東池袋1-20-2 池袋ホワイトハウスビル807

Ikebukuro White House Building 807.1-20-2, Higashiikebukuro, Toshima-ku, Tokyo 170-0013 Japan

11675 弁理士 隋水 英雄 SHIMIZU Hideo

〒102-0083 日本国東京都千代田区麹町4丁目6番8号 ダイニチ麹町ビル3階

3F,Dainichikojimachi Bld.,6-8,Kojimachi 4-chome,Chiyoda-ku,Tokyo 102-0083 Japan

12321 弁理士 高木 祐一 TAKAKI Yuichi 〒102-0083 日本國東京都千代田区麹町4丁目6番8号 ダイニチ麹町ビル3階

3F.Dainichikojimachi Bld.,6-8,Kojimachi 4-chome,Chiyoda-ku,Tokyo 102-0083 Japan

9935 弁理士 日高 一樹 HIDAKA Kazuki 〒102-0083 日本国東京都千代田区麹町4丁目6番8号 ダイニチ麹町ビル3階

3F, Dainichikojimachi Bid., 6-8, Kojimachi 4-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083 Japan

11032 弁理士 渡邊 知子 WATANABE Tomoko

〒102-0083 日本国東京都千代田区麹町4丁自6番8号 ダイニチ麹町ビル3階

3F, Dainichikojimachi Bld., 6-8, Kojimachi 4-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083 Japan

供式PCT/RO/101 (追記用紙) (2001年3月版)

Oc	t 19	'05	16:24

P. 06

第VI側 優先	相主張						
以下の先の出版に基	づく優先権を主張する:						
先の出稿8	先の出頭番号	<b>先の出</b> 題				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
. (日, 月. 年)		. 國內出	朝: 四名	広域出稿: *広埠1	<b>古</b>		
07.10.02	特顧 2002-293631	日本国	Japan			EMUN : 242113	
(2)		· ·					
(3)							
(5)							
	主張(先の出稿)が追記機に記録						
上記の先の出版(ただことを、母母女庁(日本	し、本国際出版の受理官庁に対して 国特許庁の長官)に対して譲収する	出版されたものに	<i>掘る</i> ) のうち、以	下のものについて、出盛存	数の総証辨本	を作成し国際事務局へ送付する	
#先の出版がAR I P O	優先権(1)   優先権(2)  出版である場合には、当就先の出席  ・ (規則4.19(b)(ii)) :	そ行った工業所有。	権の保護のための人	<u></u> (リ条約両領衛若しくけ他)	. and the later	その他は追記欄参照 加盟国の少なくとも1ヶ曲を	
	司立己的法员员				**********	*****************	
	(ISA) の選択 (2以	上の国際調査機	関が国際調査を	異滅することが可能など	合、いずれ	こかを選択し二文字コードを	
1 SA/J.P	************		**********				
先の関密結果の 出願8(8)	京利用謝水:当該調査 月、4)	の服会 (先の 出願書号	の調査が、原際の	『査農時によって既に実 国名(又は広		されている場合)	
アンスと中 原本国文学	-		<del></del>				
この出願は以下の 争ぶ	ててを含む。(下記の疎当する)	関をテェックし	、右にそれぞれの	の甲立て数を記載)		中立て欽	
三海 VII 税(i)	発明者の特定に関す	る申立て			1		
一新VE相(ii)	出願し及び特許を与 出願人の資格に関す		国際出願日	こおける	:		
D等VD标(iii)	先の出願の優先権を 出願人の資格に關す		90院出照61	こおける	:	·	
□第Ⅷ懒(iv)	発明者である旨の申 (米国を指定国とす				:		
□ \$95 VⅢ 1600 (~)	不利にならない関示 て	又位新規性	1要先の例を	*に関する中立	, <u> </u>		
	Mr. 99 MV (0.00 - 44 - 0.00)						

(	Oct	19	'05_16:24	
٠.	•:-		:::.	

P.07

第35欄 飛合欄:出願の實語		
この国際出版の紙様式の枚数は次のとおりである。	この風際出版には、以下にチェックしたものが恐付されている。	
(4) 紙形式での枚款	1. 🗸 手放料計算用級	数
観客(中立てを含む)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		: _1
朝神寺(配列表を除く) 1 1 枚	✓ 特付する手数料に相当する特殊印紙を貼付した書面	: _1
請求の範囲	✓ 国際等務局の口度への侵込を証明する書面	:1
要約卷	2. 国別の委任状の成本	:
图面 9 枚	3. 2. 包括委任状の原本	:
<b>小計</b> ────────────────────────────────────	-4. 包括委任教の事し (あれば包括委任教会)	
23	8. 配名押印(表名)の欠容についての説明書	· <del></del>
明細書の配列表部分・・・・・・・・・・・・・・・・・ (紙形式での出頭の場合はその収算 コンピュータ遅み取り可能な形式の言葉を問わない。	6. 優先権者類(上配第VI領の( ) の参与を記載する):	· ——
TE(6) 6 M)	7 国際出版の期級文(前欧に使用した實際名を記載する):	: <u></u>
. <del>811</del> 28 tx		:
(6)コンピューク読み取り可能な形式による配列表部分	8 寄託した欲生物文は他の生物材料に関する答面	;
コンピュータをみ取り可能が形式のみ	9. コンピュータ語み取り可能なヌクレオテド文はアミノ酸配列表 (は体の得等 (アセナギ nu. CO-ROM. CD-ヌキの妹) とお妹も表示する)	
(i) (美篇超别第 801 号(a)(i))	(i) <u></u> 規則 13 の 8 に基づき増出する国家関金のための事し (国際出席の一句を決成しない)	1
(6) 一 被形式に追加	(ii) (世籍かの文件(か)のにレ印を付した場合のみ) 規則 はのまに基づき提出する国際列交のためのましを含む通知的事し	:
(II) (实施細則落 801 号(a)(ii))	(Sii) 回数両面のための学しの同一性、又は症間に記載した 配列表別分を含む学しの同一性についての関連書を部件	;
配列表部分を含む媒体の種類(7Vキケブ・ケディステ、CD-BOM、CD-B その他)と牧牧	10 その他(音類名を具体的に記載):	1
(追加的零じは右髃9)(前)に記載)		
要約件とともに提示する図曲: 第2図	本国際出願の官等: 日本語	
<b>各人の氏ら(名称)を記載し、その次に押印する。</b>		
<b>童</b>	僧 和男 和里语	
	── 受理官庁庁入欄 2. 四回	
. 国際問題として毎出された客邸の実際の受理の日	02.10.03	
、国際出席として提出された番類を納完する春面又は図面 その後期間内に受理されたものの実際の受理の日 (打正		ර්ය
. 物許協力条約第11条 (2) に基づく必要な補完の期間		
出席人により特定された 原格技术開門 ISA/JP	6. 調査子数科未払いにつき、国際調査機関に	
<b>国際領宝模型</b>	国際事務局記入欄	
5度七八為境の点。	here that the share of person of the	
<b>緑原本の受理の自:</b>		
PCT/RQ/101 (最終用紙) (2001年3月版)		

25

明細書

血流可視化診断裝置

#### 5 技術分野

本発明は、超音波による血管中に流れる血液の計測に関し、特に血流速と圧力分布の計測に関するものである。

#### 背景技術

10 従来から血液の流れを知る方法として超音波ドブラ診断装置がある。これはプローブから発振される超音波と平行な血流の速度成分をドプラ効果によって検出し、プローブに近づく速度ベクトルと遠ざかる速度ベクトルをカラーで表示するものである。しかしながら、超音波プローブは通常皮膚に垂直にあてるため、皮膚と平行に走っている大部分の血管ではプローブから発振される超音波と平行な血流の速度成分が小さいため血流の速度表示が難しかった。このように、従来の超音波ドブラ診断装置では、血流速度ベクトルの3方向のうち1方向しか計測できないために、血液の流れを正確に表すことができなかった(例えば、特許文献1,2参照)。また、血管の破20 裂の予測に重要な血管内の圧力分布を計測する技術は現在のところ存在しない。

また、血管内の定常的な血液の流れに対しては数値シミュレーションが有効であると考えられるが、血管に分岐、曲がり、潰瘍などによる閉塞部がある場合、境界条件を求めるのが難しく、十分な計算精度が得られない。

さて、従来の数値シミュレーションにおいて、流れ場のシミュレーションとして、SIMPLER法が知られている(例えば、非特許文献1参照)。

このSIMPLER法を、図1に示したフローチャートで簡単に

説明すると以下の通りである(詳しくは、例えば非特許文献 1 を参照)。

ナビエ・ストークス式と連続式は、一般に次のように書ける。

#### 【数1】

 $\frac{\partial \mathbf{u}}{\partial t} = \mathbf{f}(\mathbf{u}, \mathbf{p}) \tag{1}$   $\mathbf{div} \mathbf{u} = 0 \tag{2}$ 

式 (1) は、速度ベクトルロの3成分 (u, v, w) に対する3つの一般化保存則をまとめて表したものである。また、式(1)(2)

10 では、密度ρは流れ場全体で一定であると仮定している。

連続式(2)を、座標を用いて表すと次式となる。

#### 【数 2】

$$\frac{\partial \mathbf{u}}{\partial \mathbf{x}} + \frac{\partial \mathbf{v}}{\partial \mathbf{y}} + \frac{\partial \mathbf{w}}{\partial \mathbf{z}} = 0 \tag{3}$$

15 この式を、格子点を中心とする体積 (コントロール・ボリューム) で積分すると次式になる。

#### 【数3】

$$(u_{\varepsilon} - u_{w})\Delta y \Delta z + (v_{N} - v_{s})\Delta x \Delta z + (w_{D} - w_{U})\Delta x \Delta y = 0$$
 (4)

20 また、速度 u に関するナビエ・ストークス式を離散化した形式から 次式を得る。

25 式中の (ΣΒ; u; ) は、3 次元の場合、uw の周囲の 6 個の値の 和を表す。さて、式 (5) 中の右辺第1項を

#### 【数 5】

$$\hat{\mathbf{u}}_{w} = \left(\sum \mathbf{B}_{j} \mathbf{u}_{j} + \mathbf{S}_{w}\right) / \mathbf{B}_{w} \tag{6}$$

2

とおいて、これらを式 (4) に代入すると、圧力に関する一般化保 存則の式が得られる。

$$a_{0}p_{0} = a_{E}p_{E} + a_{W}p_{W} + a_{N}p_{N} + a_{S}p_{S} + a_{D}p_{D} + a_{U}p_{U} + S_{O}(\hat{u}_{W}, \cdots)$$
 (7)

- 5 上式は圧力方程式と呼ばれる。運動方程式(5)と、圧力方程式(7)を同時に満足する速度 u, v, wと圧力 p が 反復法により 求められるが、計算の安定化のため反復の各ステップで、速度場が連続式を満足するよう補正を行う。 すなわち、誤差を含む圧力場 p \* に対する運動方程式の解を u \* 等とすると、これらは一般的に連続式を
- 10 満足しない。真の解を u (ベクトル) および p とすると、補正項 u ′ (ベクトル), p′を用いて、次のように表される。

#### 【数7】

$$\begin{cases} p = p^* + p' \\ \mathbf{u} = \mathbf{u}^* + \mathbf{u}' \end{cases} \tag{8}$$

15

上式を式(5)に代入し、周囲の速度補正量 u, / の効果を無視すれば、次式が得られる。

【数 8 】  
$$u'_{w} = (p'_{o} - p'_{w})d_{w}$$
 (9)

20 これを式(8)に代入すれば、速度補正式が得られる。

#### 【数 9 】

$$u_w = u_w^* + (p_0' - p_w')d_w$$
 (10)

さらに式(10)を式(4)に代入すると、圧力補正量に関する離散化式が得られる。

25 【数 1 0 】
$$a_{0}p'_{0} = a_{E}p'_{E} + a_{w}p'_{w} + a_{N}p'_{N} + a_{S}p'_{S} + a_{O}p'_{D} + a_{U}p'_{U} + S_{O}(u'_{w}, \cdots)$$
 (11)

以上をまとめると、SIMPLER 法と呼ばれる流れの数値解析手法が得られる。

SIMPLER 法による計算手順のフローチャートを図1に示す。図1

のフローチャートにおいて、まず、速度場を固定して、式 (6) か 6、  $u_w$  等を各格子点ごとに計算する (S102)。得られた値を用いて、圧力方程式 (7) より、圧力場 p を求める (S104)。 ナビエ・ストークス式 (5) により速度場を求める (S106)。圧力補正式 (11),速度補正式 (10) により速度を補正して (S108)、収束を判定する (S110)。これを収束されるまで繰り返すことにより、時刻ステップ n に関する解が得られる。

上述した流れ場の数値シミュレーションにより、現実の血流を再 現するには、ある時刻における血流の完全な状態(初期条件)と、 全ての時刻における境界面での状態(境界条件)を与える必要があ るが、これは現実的には不可能である。

なお、数値解析法(数値シミュレーション)に、実際の流れ場の 測定データをフィードバックするものとして、非特許文献 2 ~ 7 が ある。非特許文献 2 、 3 は正方形管路内の乱流場の解析であり、非 特許文献 4 ~ 7 は正方形流路内におかれた角柱後流のカルマン渦の 解析である。非特許文献 2 、 3 は流れ方向のある位置において速度 に対してフィードバックすることにより、誤差を部分的に減少させ ており、非特許文献 4 ~ 7 は圧力差に対してフィードバックしてい る。しかしながら、血液の実際の流れをシミュレーションすること への適用や、流れ方向に複数の点をとって、速度に対してフィード バックするとともに、全体の誤差を一様に減少させることについて は記載されていない。

#### 【特許文献1】

特開2000-229078号公報

25 【特許文献 2】

特開2001-218768号公報

【非特許文献1】

早瀬:有限体積法(SIMPLER法),油圧と空気圧, Vol. 26, No. 4 (1995), pp. 407-413.

#### 【非特許文献2】

早瀬,林:計算機を援用した流動場の制御に関する基礎的研究 (流動場に対するオブザーバの構成),日本機械学会論文集,Vol. 62,No. 598 (1996),pp. 2261-2268.

#### 5 【非特許文献3】

Hayase, T. and Hayashi, S.: State Estimator of Flow as an Integrated Computational Method With the Feedback of Online Experimental Measurement, Transactions of the ASME, J. Fluids Eng., Vol. 119 (1997), pp. 814-822.

#### 10 【非特許文献 4】

仁杉,武田,白井,早瀬:実験風洞と数値解析を統合したハイブリッド風洞に関する基礎的研究(フィードバック則の検討),日本機械学会,流体工学部門講演会講演論文集,CD-ROM (2001), G803.

#### 【非特許文献 5】

15 武田, 仁杉, 白井, 早瀬: 実験風洞と数値解析を統合したハイブリッド風洞に関する基礎的研究(推定性能の評価), 日本機械学会, 流体工学部門講演会講演論文集, CD-ROM (2001), G804.

#### 【非特許文献6】

Hayase, T., Nisugi, K., and Shirai, A.: Numerical Realization of Flow Field by Integrating Computation and Measurement, Proceedings of 5th World Congress on Computational Mechanics. Vienna, Austria, July 7-12 (2002).

#### 【非特許文献7】

早瀬敏幸「流れ場の数値シミュレーションと仮想計測」(計測と制御 25 第40巻第11号(2001年11月号)) pp.790-794

本発明の目的は、血管内の血流の速度を正確に表示するとともに、血液の圧力分布を表示できる診断装置を提供しようとするものである。

#### 発明の開示

上記目的を達成するために、本発明は、超音波信号を体内の血管に向けて放射し、反射した超音波信号を受信する超音波計測部と、受信した信号により、血管形状と血管内の血流の流速とを得る解析処理部と、前記解析処理部からの血管形状から、計算格子を設定して血流速と圧力分布のシミュレーションを行うシミュレーション部と、前記解析処理部からの血流速と、前記シミュレーション部にフィードパックするフィードパック部と、フィードパック後の前記シミュレーション部からの血流速と圧力分布の出力を表示する表示部とを備えることを特徴とする血流可視化診断装置である。

前記フィードバック部は、前記計算格子中の流れ方向に存在する複数代表点に対してフィードバックを行うことが望ましい。

#### 15 図面の簡単な説明

第1図は、従来の数値シミュレーション(SIMPLER 法)のフローチャートである。

第2図は、本発明の実施形態の構成を示すプロック図である。

第3図は、血流のカラードプラによる表示例を示す図である。

20 第4図は、シミュレーションに使用する計算格子の例を示す図で ある。

第5図は、シミュレーションに与える速度の境界条件の例を示す 図である。

第6図は、フィードバックを行うための代表点の例を示す図であ 25 る。

第7図は、代表点に対するフィードバックを説明する図である。 第8図は、フィードバックによるシミュレーションのフローチャ ートである。

第9図は、フィードバックによるシミュレーション結果を示す図



である。

第10図は、計測融合シミュレーションと通常のシミュレーションの比較を示す図である。

5 発明を実施するための最良の形態

以下、本発明の実施形態を図面に基づいて説明する。

図2には、本発明の超音波計測融合シミュレーションによる血流 可視化診断装置の全体構成がプロック図として示されている。

図2において、超音波計測部120は、超音波信号発生器122
10 からの信号により、人間110の皮膚112にあてられたプローブ
126から超音波パルスを送出している。送出された超音波は、血管114等で反射されたエコー信号となり、プローブ126を介して受信回路124で増幅・処理して、計測データ処理部200内の計測データ解析処理部220に送られる。プローブ126からは、例えば電子的に走査が行われて、一定範囲の像が形成されるように超音波を送出している。

計測データ解析処理部220では、エコー信号から断面面像を形成する断面画像形成部222,血管の変位を計算する血管変位演算部224,ドップラ効果を利用して血管内の血液の流速を計算する血流速演算部226があり、超音波計測の結果を演算している。これら計測結果は、表示インタフェース部260の表示処理部262により、例えば速度別に色分けした画像として、インターフェース266を介して表示装置140に表示される。

図3には、図2に示した表示処理部262による従来のカラード 25 プラの出力例が示されている。この表示は、断面画像形成部222 により生成された血管断面画像と、血流速演算部226により生成 された血流の超音波ビーム方向の速度成分である。(これについて は、例えば上述の特許文献1,2等を参照されたい。)

さて、この血流可視化診断装置は、血管や心臓の内部における血

25

流の速度や圧力の分布を超音波計測融合シミュレーションによって 演算する機能(計測融合シミュレーション部 2 4 0)を有している。 計測融合シミュレーション部 2 4 0 は、断面画像形成部 2 2 2 , 血 管変位演算部 2 2 4 からの血管断面画像を 2 値化して、計算格子を 生成する条件設定部 2 4 2 , 条件設定部による計算格子を用いて血 流の数値シミュレーションを行う数値シミュレーション部 2 4 4 , 計測データによる血流速によるフィードバックを計算して数値シミュレーション部 2 4 4 にフィードバックするフィードバック部 2 4 6 を有している。この数値シミュレーション部 2 4 4 で行われる血 6 を有している。この数値シミュレーション部 2 4 4 で行われる血 10 流のシミュレーションについては、例えば、非特許文献 1 , 2 を参 照されたい。ここで行われる数値シミュレーションでは、各格子点 における血流の速度と圧力を求めることができる。

以下に、計測融合シミュレーション部 2 4 0 を詳しく説明する。 図 4 は、計測融合シミュレーション部における条件設定部 2 4 2 において得られる血管形状と計算格子とを示す図である。条件設定 部 2 4 2 では、断面画像形成部 2 2 2 により生成された血管断節画 像を 2 値化するとともに、流れの数値解析に用いる計算格子を生成 する。後に説明する数値シミュレーション部 2 4 4 で行われる流れ の数値計算で、生成された血管形状と格子点(縦線と横線の交差点) 20 における血流の速度ベクトルと圧力が評価される。

さて、超音波計測融合シミュレーションにおける流れの数値シミュレーションでは、対象領域の境界において速度あるいは圧力の境界条件を与える必要がある。図5は、超音波計測により得られた断面中心の血流速度の時間変化をモデル化したものである。上流断面において、血管壁に平行な一様流を仮定し、その時間変化を図5で与えるものとする。なお、実際の血流では必ずしも血管壁に平行な一様流の仮定は成立しないので、この境界条件による誤差が避けられない。超音波計測融合シミュレーションは、計測データのフィードバックによりこの誤差をキャンセルすることができる。

図6は、計測融合シミュレーションにおける代表点を示す図である。これらの代表点(図6ではA~Rの18点)に関して、フィードバック部246で、超音波による血流速度と対応する数値シミュレーション結果の誤差を求め、その誤差に応じた体積力を数値シミュレーションにフィードバックすることにより、数値シミュレーションの結果を実際の血流の値に収束させる。

SIMPLER法において、フィードバックは、体積力 f (ベクトル)を運動量保存式であるナビエ・ストークス式である式(5)の右辺の最後に加えて行う。

10 【数11】

$$u_w = (\sum_i B_i u_i + S_w) / B_w + d_w (p_o - p_w) + f_w$$
 (5)

図7は、数値シミュレーション部244で行われる、代表点におけるフィードパックの説明図である。ここでは、代表点の1つである原来を例に説明する。計測と並行して数値シミュレーションを行っているが、その際得られた速度ベクトルをロ。として、2次元で表している。運動量の保存式であるナビエ・ストークス式より得られた速度ベクトルロ。の超音波ビーム方向の成分と、超音波計測により得られたビーム方向の速度成分ロm(ベクトル)の差を、ナビ20 エ・ストークス式の体積力項にフィードバックする。

実際のフィードバックに用いる体積力 f (ベクトル)の項は、

【数 1 2 】
$$f = -K \left( \frac{u_c \circ u_m}{|u_m|^2} - 1 \right) u_m$$

25 である。ここで、ベクトル $u_c = [u_c, v_c, w_c]$ 、ベクトル $u_c = [u_m, v_m, w_m]$ 、Kはフィードバックのゲインである。これで求まる体積力ベクトル f を計算領域内の複数個の代表点に与える。

図8は、実施形態で数値シミュレーションとして、SIMPLE

R法を用いたときにおけるフィードバックを説明するためのフローチャートである。他の数値シミュレーションを用いることも同様にできる。なお、図1と符号が同じであるステップは同じ処理を行う。

図8において、計測データ解析処理部220から計測結果のum (ベクトル)を得て(S210)、フィードバックを行うために体積力を求める(S208)。そして、各代装点におけるナビエ・ストークス式に上述のように、計算した体積力を付加して計算を行う(S206)。その他のステップは、図1に示した処理と同じである。

この様に、超音波計測融合シミュレーションでは、超音波計測結 果と対応するシミュレーション結果の差に比例した大きさの体積力 f (ベクトル)を数値シミュレーションにおける運動量の保存式に フィードバックする。この体積力 f (ベクトル)の効果により、シ ミュレーションにおける速度計算値 u。(ベクトル)のピーム 方向速度は、対応する計測値 u m (ベクトル)に漸近する。

図9に超音波計測融合シミュレーションの結果を示す。図9(a)は、血管断面内の圧力分布と、血流の速度ベクトルを示したものである。なお、見やすくするため、図では一部の速度ベクトルを表示しているが、実際には図4で示した全ての格子点上で、速度ベクトルと圧力が得られている。また、図9(b)は、超音波計測融合シミュレーションより得られた速度の情報を用いて、カラードプラの表示を行ったものである。

以下に、超音波計測融合シミュレーションの計算精度について、 25 通常の数値シミュレーションと比較した結果を示す。

図10は、図6で示した代表点Rにおける血流の x、y 方向の速度成分 u、v の時間変化を示す。計算の精度を正確に評価するため、図4で示した計算格子の格子点数を x、 y 方向にそれぞれ 2 倍とした計算格子を用いた数値シミュレーションを行い、その結果を整準と

10

15

20

して、精度の評価を行った。図10の実線は基準となる速度変動を表している。基準の流れ場における代表点A~Rのy方向速度成分 v を用いて、図7の方法でフィードバックを行った結果が図10の 細線、また、フィードバックを行わない通常の数値シミュレーションを図4で示した粗い格子系を用いて行った結果が点線である。u、 v ともに、通常の数値シミュレーションの結果は、基準解の結果と異なっているが、これは計算格子の間隔が十分でないために生ずる 誤差が原因である。これに対して、フィードバックを行った計測融合シミュレーションの結果では、y方向の誤差によるフィードバックを行っているため、y方向速度 v に関しては、基準解とほとんど 一致する結果が得られており、また、x方向速度 u についても、通常のシミュレーションよりも基準解に近い結果が得られている。

変1は、計測融合シミュレーションによる数値解の精度を比較したものである。A~Rの全ての代表点において、y方向速度 v の基準解と計算結果の差の絶対値を時間で平均したものの全体の平均値である誤差ノルムで精度を評価した。

#### 【表 1】

誤差ノルム
計測融合シミュレーション 0.0025
通常の数値シミュレーショ
ン 0.0202

この表 1 で分かるように、通常の数値シミュレーションより、 誤差は約 1 桁減少している。

#### 25 産業上の利用可能性

この診断装置を用いることにより、血管内の血流の速度や圧力の分布を正確に表示することができるので、大動脈乖離や潰瘍などの血管内部の物理形状的な病変の正確な診断と治療計画に役立てることができる。

#### 請求の範囲

- 1. 超音波信号を体内の血管に向けて放射し、反射した超音波信号を受信する超音波計測部と、
- 5 受信した信号により、血管形状と血管内の血流の流速とを得る解析処理部と、

前記解析処理部からの血管形状から、計算格子を設定して血流速と圧力分布のシミュレーションを行うシミュレーション部と、

前記解析処理部からの血流速と、前記シミュレーション部からの 10 血流速との誤差を計算して、前記シミュレーション部にフィードバ ックするフィードバック部と、

フィードバック後の前記シミュレーション部からの血流速と圧力 分布の出力を表示する表示部と

を備えることを特徴とする血流可視化診断装置。

15

2. 請求項1に記載の血流可視化診断装置において、

前記フィードバック部は、前記計算格子中の流れ方向に存在する 複数代表点に対してフィードパックを行うことを特徴とする血流可 視化診断装置。

20

25

#### 要約書

本発明は、超音波信号を体内の血管に向けて放射し、反射した超音波信号を受信する超音波計測部120と、受信した信号により、血管形状と血管内の血流の流速とを得る解析処理部220と、解析処理部220からの血管形状から、計算格子を設定して血流速と圧力分布のシミュレーションを行うシミュレーション部244と、解析処理部からの血流速と、シミュレーション部244にフィードバックとの誤差を計算して、シミュレーション部244にフィードバックするフィードバック部246と、フィードバック後のシミュレーション部からの血流速と圧力分布の出力を表示する表示部260、140とを備えることを特徴とする血流可視化診断装置である。

参照:第2図

F i g. 1 ...

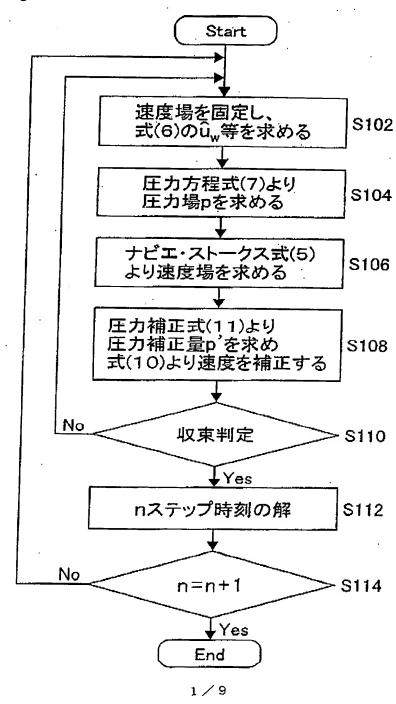
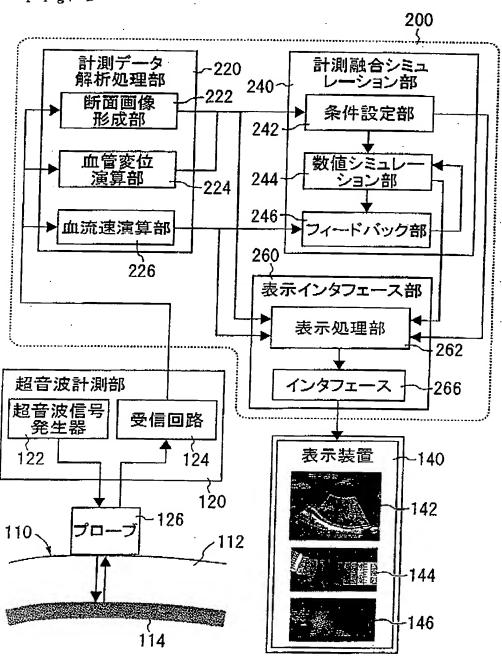


Fig. 2



2/9

Fig. 3 カラードプラ表示例

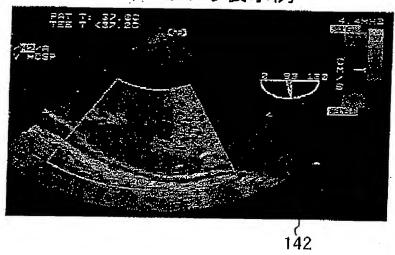
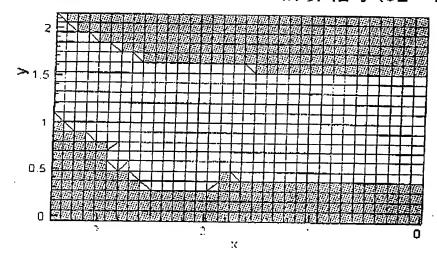
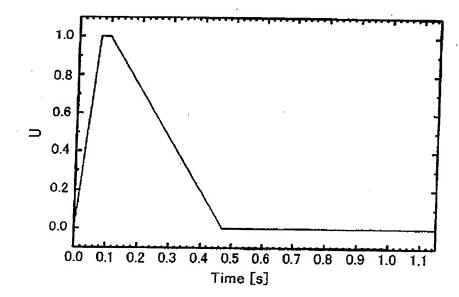


Fig. 4

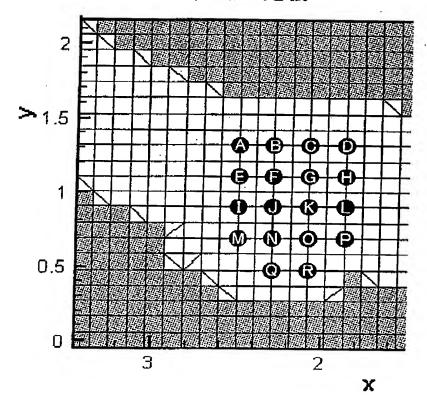
# 計測融合シミュレーションの計算格子(32×20)



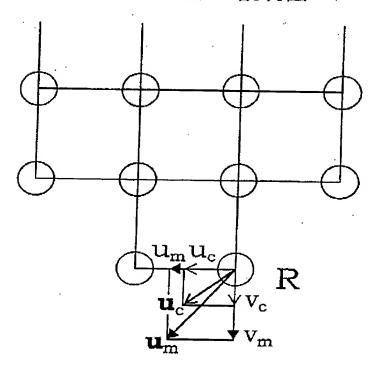
# 血管上流側での一様速度境界条件



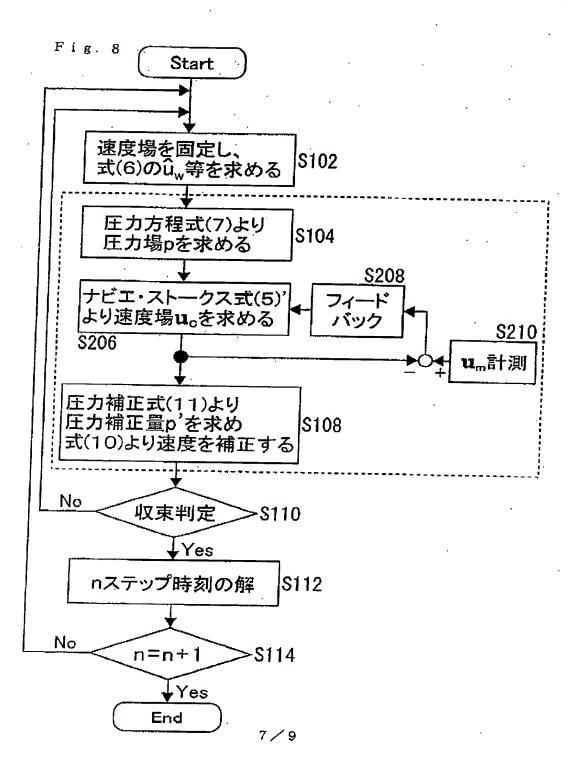
## 代表点の定義



## フィードバックの説明図

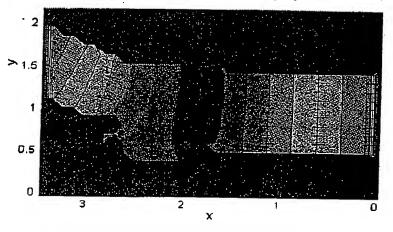


$$\mathbf{f} = -K \left( \frac{\mathbf{u}_c \circ \mathbf{u}_m}{\left| \mathbf{u}_m \right|^2} - 1 \right) \mathbf{u}_m$$



## 計測融合シミュレーションの結果(t=0.2s)

# (a)血管内の速度ベクトルと圧力分布



## (b)カラードプラ表示

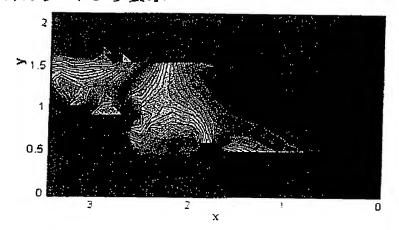
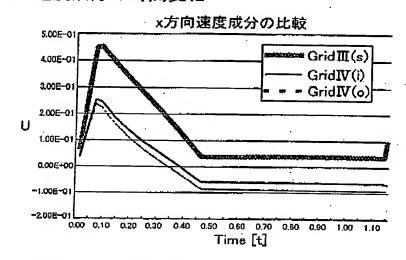
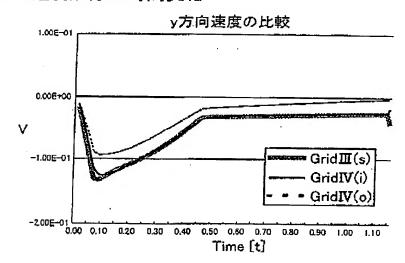


Fig. 10 計測融合シミュレーションと通常の 数値シミュレーションとの計算精度の比較 (代表点Rでの比較)

## (a)u速度成分の時間変化



## (b)v速度成分の時間変化



# This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

### **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS	
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES	
☐ FADED TEXT OR DRAWING	
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING	
SKEWED/SLANTED IMAGES	
COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS	
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS	
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT	
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY	

## IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

☐ OTHER:

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.